

## ■ ふるさとの「いのち」とふれ合う東っ子 (笠縫東小学校)

### 1 【活動の趣旨】

本校では、学校のそばを流れる葉山川を基点とした環境学習「葉山川学習」を、全学年で行っており、葉山川沿いでの自然観察や昆虫等の採集をする機会が多い。ふるさとの自然環境の素晴らしさを体験活動によって実感し、学習を支援してくださる地域の方とのふれあいの中で、子どもたちはふるさとへの愛着を育んでいる。

### 2 【特徴的な活動内容】

#### ○「あきとなかよし」(1年生 生活科)

1年生の生活科「あきとなかよし」の学習では、どんぐりなど秋の自然物で遊ぶ活動がある。それらの活動を支援していただくため、地域の方々の協力を得ることにした。活動場所は、学校近くの【おなもみダーツの様子】葉山川沿い広場。遊びの種類は、「どんぐりゴマ・やじろべえ」「おなもみダーツ」「秋のかんむり作り」「10円玉みがき」「笹船浮かべ」で、それぞれのコーナーに地域の方がおられ、順番に巡ってくる子どもたちの遊びを支援してくださるシステムである。地域の方々は、材料となる植物を事前に集め、各コーナーの準備を整えて子どもたちを迎えてくださった。「おなもみダーツ」の得点を記録したり、「どんぐりゴマ」の作り方を教えたり、「秋のかんむり作り」の材料の植物名を教えたりとほほえましいふれ合いの姿が見られた。



### 3 【実施に当たっての工夫】

去年は、教室で行った活動だが、3密を避けるために校外で場所設定をし、各コーナーの間隔も十分にとった。地域の方々と事前打合わせは入念に行い、準備物は学校と地域とで分担し、地域の方に材料となる植物などをたくさん集めてもらうことで、活動がより充実した。



【秋のかんむり作り】

### 4 【事業の成果】

このように、1年生から地域のフィールドで地域の方と活動することで、地元を愛し、その自然環境を大切に作る素地が作れた。遊びの充実だけでなく、地域の方とのふれ合いができたことを子どもたちは喜び、手紙で感謝の気持ちを伝えるなど、今後につながる関係作りができた。

これまでから本活動を支援してくださっていた地域の方々が、さらに支援者を増やすべく声をかけた結果、大変多くの地域の方々に支援していただくことができた。今後は、他学年の活動にも学習ボランティアとして参画をしてくださる予定。

### 5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

今年度のコロナ禍において、従来通りの活動ができなかったものや活動規模を縮小せざるを得ないものがあった。しかし、コロナ禍が明けた時、果たして従来のような取り組みに戻ることができるのかという懸念を抱く。地域との協働活動の値打ちや意義を明確にし、その良さを発信していくことが大切である。